

記事の一  
角

新湊高等学校

二年

天野

菜々

先日、妹宛にハガキが届いた。それは幼稚園の時の先生からの暑中見舞いだ。

そのハガキについて話して聞いたところ、この間、新聞に○○ちゃんの習字が載った。

子の内 容 が び 、 い り と 書 か れ た す と 、 そ の よ う に 最 近 、 妹 の 書 い て 習 字 が 新 聞 に 載 り 、 そ う い え

ば な コ ー ナ ー の 一 部 で あ り 、 每 日 新 聞 を 読 ん で 、 こ と は 各 ほ の に き の 先 生 は 妹 の 名 前 を 見 つけ た 。 小 さ い る 人 が 必 ず 目 を 止 め る 所 で も な い 記 事 の 一 こ と が 多 い 。 私 も ま た 、 テ レ ビ 櫛 以 外 は ほ と い た 。 新 聞 は 自 分 の 見 た い 記 事 に か イ て く れ ん ど 見 な い の が 正 直 な と こ ろ 。 新 聞 そ の も の を 目 に し な い 日 も あ る 。

たくさんある記事の中でも、妹の作品に気がつく

く  
れ  
た。  
新聞には二  
入  
ス記事にま  
じり、それ  
が、うれしく思  
ひた。  
新聞が身近に感  
じて瞬間だ。  
な人の活動や作品が載  
つたり、人々が活動  
している時の楽しきな様子や真剣な様子を  
見るだけで自分も頑張らうと思ふ人がたくさん  
いることを知り、学び、活かすことができる。二  
入  
ス記事は世間で起きたり、すべ  
て自分の知識となる。テレビでも二  
入  
スを  
知らないところが下書きのではないかと思ふ人が多い  
ると思うがやはり新聞に目を通すことだが、  
要だとと思う。活字や文章を読み取る力も身に  
つくと思う。今、新聞を取り扱いなさい家も数多くあると  
耳にする中で妹のハガキを通して近感がわいたあと  
が新聞といふ物に対する心近感がわいたあと  
の間に数々のことを見た。  
から情報を得ることで、全国二  
入  
スや世界的二  
入  
スが身

2

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

情報を目にしたと感じた。新聞という紙